

---

# 東北大学陸上競技部

## OB・OG通信

2019年No.5 (2019.10)

---

- ・ 秩父宮賜盃第 51 回全日本大学駅伝対校選手権記念大会東北地区代表選考会  
兼第 37 回全日本大学女子駅伝対校選手権大会東北地区代表選考会
  - ・ 天皇賜盃第 88 回日本学生陸上競技対校選手権  
…女子 400m で佐貫有彩(4)が 56 秒 48 で 2 年連続入賞
  - ・ 第 34 回国公立 27 大学対校陸上競技大会  
…男子総合位、女子総合位  
…女子 100mH で泉屋咲月(4)が 15 秒 40 で部記録更新  
…男子 200m で白鳥海知(5)が 21 秒 22 で全日本インカレの B 標準突破
- 

- ・ 秩父宮賜盃第 51 回全日本大学駅伝対校選手権記念大会東北地区代表選考会  
兼第 37 回全日本大学女子駅伝対校選手権大会東北地区代表選考会 2～3 ページ
- ・ 天皇賜盃第 88 回日本学生陸上競技対校選手権 3～5 ページ
- ・ 第 34 回国公立 27 大学対校陸上競技大会 6～13 ページ
- ・ 秋保マラソンのご案内 14 ページ
- ・ 東北大学学友会陸上競技部祝勝会のご案内 15 ページ
- ・ 自己ベスト更新者 16 ページ
- ・ 今後の予定 16 ページ
- ・ 編集後記 16 ページ

清秋の候、会員の皆様にはますますご発展のほどお喜び申し上げます。

今号では、秩父宮賜盃第 51 回全日本大学駅伝対校選手権記念大会東北地区代表選考会兼第 37 回全日本大学女子駅伝対校選手権大会東北地区代表選考会の結果と、第 34 回国公立 27 大学対校陸上競技大会の結果を中心に、各大会における選手の活躍をお伝えします。

◎秩父宮賜盃第 51 回全日本大学駅伝対校選手権記念大会東北地区代表選考会兼第 37 回全日本大学女子駅伝対校選手権大会東北地区代表選考会(9/26)・北上総合運動公園(岩手)

去年に引き続き北上での開催となりました。男子は 16km・10km のロードレースで合計タイムを競いました。女子は出場していません。当日は日差しも強くなく走りやすい天候でした。男子チームは全力を尽くしましたが、結果は 4 位と 7 大会連続本大会出場とはなりませんでした。リザルトと前長距離 PC からの予選会総括を紹介します。

・男子対抗戦結果

順位	大学	記録
1 位	東北福祉大学	5 時間 44 分 42 秒
2 位	東北学院大学	5 時間 45 分 00 秒
3 位	仙台大学	5 時間 51 分 37 秒
4 位	東北大学	5 時間 53 分 26 秒
5 位	山形大学	5 時間 53 分 49 秒
6 位	岩手大学	6 時間 10 分 26 秒

	氏名 (学年)	記録
16km	松浦 崇之(4)	49'44"
	木村 秀(3)	54'16"
	柚木 友哉(M1)	56'05"
	脇田 陽平(4)	56'37"
10km	松田 将大(M1)	33'52"
	三浦 大樹(4)	34'05"
	田沼 怜 (3)	34'10"
	長田 公喜(4)	34'37"



▲先頭を走る松浦(4)



▲16km の部

10km の部



## 〈予選会総括〉

全日本大学駅伝東北地区予選会は5時間53分26秒で4位となり7連覇を逃すという結果に終わってしまいました。16kmの部1位でゴールした松浦崇之(4)は日本学生選抜に選出されました。1位の東北福祉大とは8分44秒の大差をつけられてしまいました。

しかし選手は今ある力をすべて発揮しました。今年走った8名は来年も競技継続予定です。来年は伊勢路に帰って来られるよう1年間努力して参ります。今後とも応援のほう宜しくお願い致します。

東北大学学友会陸上部前長距離PC 田沼 怜

## ◎天皇賜盃第88回日本学生陸上競技対校選手権(9/12~15)

### ・岐阜メモリアルセンター長良川陸上競技場(岐阜)

各地区の予選を勝ち抜いた選手やハイレベルな参加標準記録を突破した選手など全国の猛者が集うこの大会に、我が校からも8名の選手が出場権を獲得し、6名の選手が出場しました。リザルトと選手の感想を紹介します。

#### 男子 100m 200m

・芦田周平(3) DNS

#### 男子 400m

・水戸部慶彦(5)

予選 3組8着 49"98

東北インカレで優勝し、C標準で全カレに出場させていただきました。先に今年自分が負った怪我について書こうと思います。東北インカレ400m決勝でのゴール後の転倒により後十字靭帯断裂とかなりの大怪我負いました。選手生命に関わるのではとの声もありましたが、現在では完治し(断裂した靭帯は繋がることはありませんが)一切問題なく走れています。であるのでこれ以降は、この怪我と完全に切り離して読んでいただきたいなと思います。

結果は49"98とベストには遠く及ばず全体で最も遅いタイムでした。標準を切って出場してきている選手達との大きな実力の差を見せつけられました。元々自分の全カレ出場は多くの偶然が都合よく重なった結果であり、実力差があっても当然だとも言えます。今回のレースに大きな不満はありません。自分の技術の習得が間に合わなかったただけだなと考えています。ただ今回の大会を通じて大きく変化したものがあつたの

でそれについてまとめようと思います。先ほども書いたように自分は今年全カレに出られるようなレベルの選手ではありませんでした。そのため、全カレで勝負をしにくくというよりは、どこか記念めいたものという意識がありました。初の全国大会だったのもあると思います。大会の前の練習は自分ひとりどこか浮足立っていました。「この大会に関しては走り終えたらきっと満足するのだろう」そんな風に考えていました。しかしそんなことは全く思わず、それどころか自分の中で全カレに対する意識、目標が変わりました。「全カレもそう遠くないのだな」確かにそう思いました。来年は学生陸上ラストシーズンとなります。やれることはすべてやり、全カレの決勝進出を目標に基礎から積み上げていこうと思います。

#### 女子 200m 400m

・佐貫有彩(4)

200m	予選	3組2着	24"91(+0.9) Q
	準決勝	1組6着	24"77(+0.3)
400m	予選	3組2着	55"48
	準決勝	1組3着	55"80
	決勝	7位	56"48

9月12～15日に行われた日本インカレに200m・400mで出場し、200mは準決勝敗退、400mでは7着でした。今シーズンは怪我の影響で不調だったものの、全カレ1日目に接地の感覚が戻り、SBとなる55.48で予選を通過しました。大会4日間を通じて1番よく走れたレースだったと思います。その後の準決勝も着で通り、決勝に駒を進めましたが、決勝は大会の疲労と怪我による練習不足で、前半からスピードに乗れず、後半も動かず7位で終わりました。400mは昨年と比べると全体のレベルも下がっており、予選の様に走っていたら、もっと上の順位も狙えていたと思います。

200mでは有力選手の欠場もあり、予選を2着で通過しました。準決勝ではタイムを予選より0.2秒ほど伸ばしたものの、スタートの遅れと後半の動けなさが響き、準決勝敗退となりました。200mは今シーズン、日本選手権の標準切りを目指し、特にスタートを中心に取り組んできた種目だったので、非常に悔しい結果となりました。

今大会を振り返って、良かったことは調子が悪い中で400mは日本ICにピーキング出来たことぐらいです。練習や他の大会で出来ていたことは出来なかったですし、400mに向けて距離を積む・200mに向けたセット走・プライオ系など怪我で出来なかった練習も多く、大会に向けて全力を尽くせた感じはなかったです。今回の経験を生かし、来年は万全の状態での大会に臨めるよう努力していきたいと思います。また、10月に国体に出場するので納得のいく走りが出るように頑張りたいです。

最後に、大会期間中は多くの方に応援いただき、非常に力になりました。ありがとうございました。

#### **男子 5000m 10000m**

・松浦崇之(4)

**5000m 決勝 25位 14'27"04**

**10000m 決勝 20位 30'27"93**

この度、9/12-15日に岐阜メモリアルセンター長良川陸上競技場にて行われました

天皇賜杯第88回日本学生陸上競技対校選手権大会に出場しました。東北インカレ及び北日本インカレのC標準にて10000mと5000mの2種目での出場でした。結果につきましては、10000mが30'27"93(出場26人中20位)、5000mが14'27"04(出場31人中25位)でした。今大会の入賞ラインが28'58"15及び14'02"88と私の記録からはまだまだ程遠い記録でした。あと2年でこの差を埋められるか?自分でもわかりませんが、諦めてしまったらこの差は埋まりません。この差を埋められると信じ続けて日々精進していきますので応援よろしくお願ひします。また、この大会を通じて多くの方への感謝の気持ちを実感することができました。自分の大学の選手が競技をしていないにも関わらず集団応援をしてくださった七大学の皆様、ラップタイムを取ってくださった北海道大学の皆様、直接もしくはLINEなどで応援をくださった皆様、このような方々がいることが私が陸上を楽しく続けてられる一番の理由です。この場を借りて感謝の気持ちを伝えたいと思います。ありがとうございました。

#### **女子 10000m**

・栗原唯(M2) **26位 35'59"22**

おそらく最初で最後の全カレ10000mに出場しました。他の選手とのタイム差は大きかったので、チャレンジャーとして攻める走りをして35'切りを目指すことにしました。ピーキングが上手くいっていない感覚はありましたが、大会当日は予報ほど暑くなかったこともあり、一流の選手と共に大舞台のスタートラインに立った時は非常に気持ちが高揚しました。私はレース中、イーブンペースで走ることが多いので、集団の後ろになることは覚悟していました。しかし、想像以上に最初の1000mが集団も自分も速かったこと、あまりにも一人旅であったことから気持ちが乱れ、持ち味である本番に強い淡々とした走りができなくなりガタガタと崩れてしまいました。最初の5000は17'25前後と悪くなかったのです

が、その後もペースダウンが続き、最終的にギリギリ 36'切りでゴールする情けない走りとなってしまいました。練習の成果が十分にNSEなかつたことや、気持ちがついていけなかつた後悔はNSEません。しかし、競技に復帰して1年強でまさかこんな場所に立っているとも、こんな目標を掲げることができるとも思っていなかつたので、このような経験ができたことは非常に感謝しています。これを糧に、今後は駅伝でしっかりと結果が残せるよう気持ちを新たに頑張りたいと思います。

また、全カレのレース中には、七大学の集団応援に本当に励まされました。30-40人いたので、圧巻でした。知り合いのほぼいない全カレで、一人旅のレースで苦しい中、本学の集団応援のようなホーム感のある応援が聞こえてきた時には本当に力が出ました。せっかくなら目標を達成して格好をつけたかったという欲はありますが、七大学の皆さん、会場で応援してくれた部員や関係者の皆さんには本当に感謝しています。

#### **男子 10000mW**

・寺島智春(3) DNS

#### **女子 10000mW**

・青木まひろ(2) 24位 55'48"22

今回、C標準を切つて全日本インカレに出場しました。昨年は出場権は得ていたものの、ケガで欠場という結果でしたので、今年はずじめての全国の舞台を踏めたことは、大変貴重な経験となりました。今シーズンは長らく不調が続き、練習をしっかりと積めていない状態での出場となりました。まわりの選手とも実力に大きく差があつたため、シーズンベストを更新することを目標にレースに臨みました。序盤から先頭集団に離されてしまいましたが、比較的安定したラップを刻むことができ、結果シーズン

ベストを出すことができました。自己ベストより5分近くも遅い記録ではありましたが、内容的にはよいレースができたので良かったと思います。いろいろな課題が見つかりましたので、今後工夫して練習していきたいです。

#### **男子走高跳**

・山下一也(M1) 13位 2m10

東北インカレで2m06の記録で優勝し、C標準で本大会に出場しました。出場選手のほとんどが格上、最初の高さも2m05であり、かなり厳しい展開が想定されました。しかし、2週間前に行われた東北選手権で2m10の自己新記録で優勝し、良い流れができていたので、自信を持って大会に臨むことができました。

2m05は落ち着いて助走を走り、うまく踏切姿勢に入ることができたため、1回目でクリアしました。2m10の1回目は内傾走での加速を意識しましたが、踏切で潰れて失敗しました。2回目はうまく内傾走を走ることができず、失敗しました。3回目も満足のいく助走、踏切をすることはできませんでしたが、クリアしました。2m15はうまく跳躍を調整しきれず、3本とも失敗に終わりました。

この大きな大会で自己ベストと同じ記録を出し、13等となれたことは評価できると思いますが、2m10を1回目で跳べなかつたこと、修正しきれず満足のいく跳躍ができなかつたことが心残りです。今後は助走の内傾の走りを重点的に修正し、シーズン中の記録更新を目指します。

本大会は様々な方のサポートのもと出場し、競技に臨むことができました。応援、サポートをしてくださつた方々に心より感謝申し上げます。

◎第 34 回国公立 27 大学対校陸上競技選手権大会(9/22～24)

上尾運動公園陸上競技場・・・(埼玉)

昨年に引き続き埼玉での開催となった今大会。東北大学の選手は部記録が誕生するなど、例年以上の結果を残しました。対校戦に出場した選手たちの観戦記を掲載します。

**男子100m 予選**

4組1着 藤井佳祐(M1) 11"01(-2.0)

スタートから先頭に立ち、そのまま1着でゴール。

5組3着 上村尠之(2) 11"47(-1.4)

加速から3位に位置づけそのまま3着でゴール。

8組1着 白鳥海知(5) 10"87(-0.5)

加速から先頭に立ちそのまま流れに乗り1着でゴール。

**男子100m 準決勝**

2組3着 藤井佳祐(M1) 10"89(-0.2)

スタートは上手くきれたが加速に乗り切れず、中間では動きが小さくキレのある走りが出ておらず、伸びず3着でゴール

3組3着 白鳥海知(5) 10"76(-0.4)

30m付近で4位だったが、後半伸びた。山大を差し3着でゴール。

**男子100m 決勝**

5位 白鳥海知(5) 10"69(+1.1)

低い姿勢で飛び出し加速に乗った。最初から最後まで接戦となり集団のままゴール。

**男子200m 予選**

2組1着 藤井佳祐(M1) 21"87(+2.9)

スタートは周囲と比べると反応は遅れたが、100mの時点で先頭に立っていた。そのまま維持し1着でゴール

3組4着 上村尠之(2) 22"84(+0.4)

カーブを抜けたところで3位だったがゴール間際で抜かされ4着でゴール

8組1着 白鳥海知(5) 21"60(+3.9)

コーナーでトップに立った。イン側の2名が離れずに着いてきたが、直線を落ち着いて走りそのまま先頭でゴール。

**男子200m 準決勝**

1組着 白鳥海知(5) 21"22(+1.8)

加速で福島が飛び出した。大きな走りで冷静に追い、100m付近でかわした。そのま

ま後半流れに乗り後続との差を広げトップでゴール。

2組4着 藤井佳祐(2) 21"77(+1.4)

初めから飛ばしたが、上手く伸びきらず、最後の直線で追いつけず4着でゴール

**男子200m 決勝**

2位 白鳥海知(5) 21"33(+0.8)

コーナーを僅かの差でトップ通過。直線に入りすぐアウトレーンの学芸がじわじわと伸びはじめ先頭に。インレーンの静大にラスト付近で並ばれるもトルソー差で2位。

**男子400m 予選**

3組2着 八巻隼人(3) 50"00

前半から快調に飛ばし300m地点を通過。ラストは流してゴール。

4組2着 佐藤千仁(1) 50"20

出来るだけ力まずにバックストレートを抜けた。200～300で再加速して、ラストで2着を取った。

9組5着 岩波発彦(M1) 51"85

スタートから動きが小さく、前半から遅れを取る。後半もスピードを上げることが出来ずに5着でゴール。

**男子400m 準決勝**

1組 八巻隼人(3) DNS

2組7着 佐藤千仁(1) 50"48

スピードが終始上がらず、気づけば7着。

**女子400m 予選**

1組4着 小川明音(2) 1'01"35

スタートはやや遅れ、200mを4番手で通過すると、そのまま4着でゴール。

2組6着 柄澤菜々美(3) 1'07"07

スタートから終始置いていかれる展開。辛うじて300通過で外の選手集団を捉えるも、直線で徐々にピッチは落ちていき6着。

**男子800m 予選**

2組8着 川島啓(3) 2'03"86



ブレイク後集団中盤に付けるも 200m 通過から周りがスピードを上げ順位をおとす。その後集団にくらいつくもラスト 300m からのペースアップに対応できず 8 着。

#### 7組2着 佐藤宏夢(M1) 1'59"78

ブレイク後集団後方に位置付けるが、400m 通過あたりで順位を上げラスト 300m で 3 番手まで上がる。その後 1 人を追い越し後続から逃げ切って 2 着でゴール。

#### 8組5着 細田健斗(4) 1'59"74

200m 通過あたりで集団のやや後ろに付けそのまま集団について前を追う。ラスト 200m のスパートで 1 つ順位を上げて 5 着。

#### 男子800m 準決勝

#### 2組6着 佐藤宏夢(M1) 2'00"74

ブレイク後集団の中で緩やかなペースで 300m を通過した後、他選手のペースアップに対応して前を追うもラスト 200m のスパートにはつけず 6 着でゴール。

#### 女子 800m 予選

#### 1組3着 加藤ひより(2) 2'26"20

ブレイク後は3位集団の中ほどを走る。400m を 73 秒で通過し、500m で 4 位に出る。600m でスパートをかけ、ゴール直前で 1 人をかわし 3 着。

#### 3組2着 小川明音(2) 2'20"54

ブレイク後 3 番手に着き、そのまま 700m を通過。最後の直線で 1 人を抜き 2 着。

#### 女子 800m 決勝

#### 5位 小川明音(2) 2'20"51

100m の通過は最下位。その後 7 番手につき、ラストの 200m で 2 つ順位をあげ 5 着。

#### 男子1500m 予選

#### 1組6着 村松兼志(3) 4'08"67

スタート後 3 番手につける。1000m までに 6 番手となるが先頭集団でレースを進める。ラスト 1 周でペースが上がり、先頭についていけずそのまま 6 着でフィニッシュ。

#### 2組 7 着 菅野耀広(2) 4'09"08

序盤は集団のペースに合わせ落ち着いたレース運び。2 周目から先頭がペースを上げ集団が縦長になり、それにつかず離れずの距離を保ちながら緩やかにペースを上げ、落ちてきた選手を着実にかわしていき、ラ

スト 300m でスパートをかけ順位を大きく上げて 7 着でゴール。

#### 3組 7 着 谷口尚大(3) 4'14"95

スタート後 100m ほどで先頭が 4 人前に出て、第二集団の中盤に位置付けて 1 周目通過。その後集団が縦長になって徐々に離されていきそのまま順位変動なく 7 着。

#### 男子5000m 決勝

#### 2組6着 臼井駿斗(3) 16'03"54

スタートしてから後ろの方でレースを始め、第3集団で2700mを通過。第3集団の福島大がペースを上げ集団が分かると前についていき、3900m地点でその人を越してペースを上げ第2集団や第1集団から遅れてきた人を数名抜かし自己ベストでゴール。

#### 2組13着 伊藤裕希(1) 16'19"75

スタートから積極的な走りで中央よりやや前方でレースを進める。入りの1000mを3'14で通過し、その後ラスト1周まで集団に着き3'16/kmのほぼイーブンペースで走り自己ベストを88秒更新。

#### 2組23着 五十嶋航太(1) 16'51"36

スタート直後、集団の後方(3'15~20/km程度)についた。臼井についていこうと思いつぐ後ろを位置取っていたが、2500mあたりで集団の一部がスピードをあげて集団が消滅し、単独走となった。その後はペースを落とし、一時3'30/kmほどになった。最後の1kmもスパートをかけきれずにゴールした。

#### 女子5000m 決勝

#### 16位 橋本悠美(3) 20'35"21

スタートしてから間もなく集団後方でレースを進める。1000m 過ぎで 3 人の集団になり、先頭を変えながら走る。3000m 手前で前の 1 人に追いつき、集団から 1 人が遅れ、再び 3 人でレースを展開。ラスト 300m でスパートをかけ 2 人を抜き、16 着でゴール。

#### 男子 10000m 決勝

#### 2組 8 着 工藤大介(1) 34'33"95

スタート直後 2 つの集団に別れ、3'20/km の第二集団に着いた。5000m 付近からは回りのペースが落ちたため単独走となった。7000m 以降はペースを維持することができずに失速してしまった。

**2組 13着 児玉健太(1) 36'14"56**

3000m 付近までは集団についていったものの、次の1000mでラップタイムが落ち集団から離れてしまった。次の1000mでペースを戻そうとしたものの単独走となってペースは戻らず、その後もラップが落ち続けてしまった。7000m過ぎぐらいから前の選手の背中が見え始め、その選手を拾い、ラスト1000mを少しペースアップしてゴール。

**男子110mH 予選****2組 2着 鈴木健大(3) 15"23(+1.4)**

スタートから勢いよく飛び出し、前半は先頭の選手に食い下がるが、後半フォームの崩れやピッチの落ちが顕著になって離され、2着でフィニッシュ。

**3組 4着 楠木啓介(M2) 15"79(+2.8)**

隣のレーンと1台目の入りは同じくらいであったが、2、3台目とインターバルの走りが悪く徐々に離された。10台目で派手にハードルに足をぶつけ大きく減速。4着。

**5組 3着 羽根田佑真(4) 15"94(+1.0)**

スタートの出はトップ。しかし1台目の入りでバランスを崩し、そのままインターバルもスピードに乗り切れないまま、3着フィニッシュ。

**女子100mH 予選****1組 6着 泉屋咲月(3) 15"72 (+0.5)**

1台目の入りでやや出遅れ、踏切後上体がばらつく。3台目まで不安定な走りだったがそこから立て直し、中盤はまずまず。後半で若干ピッチが落ち、6着でゴール。

**女子100mH 決勝****8位 泉屋咲月(3) 15"40 (+2.0)**

1台目の入りはまずまず。前半で周りとの差がつくが、追い風に乗って加速する。ハードリングでやや浮いている印象を受けるが、後半までピッチを落とさず走りきり、8位。

**男子400mH 予選****1組 6着 中村祐貴(1) 1'00"87**

5台目まではスピードにのっていた。後半足が動かなくなりずると離され、6着。

**5組 3着 二ノ神遼(2) 56"06**

スタートの反応で一瞬遅れるが、バックストレートでスピードに乗る。200m過ぎか

ら疲れが見え、徐々に先頭と離され3着。

**女子400mH****1組 6着 柄澤菜々美(3) 1'11"78**

スタートから快調にバックストレートを抜け、逆足もクリア。8台目付近から減速が目立つが1つ外の選手との差を縮める。最後のインターバルはかなり疲れ、追いつけずに6着。

**男子3000mSC 決勝****3組 12着 酒井健(2) 11'06"17**

スタートから200m程で前の8人の集団と離されて5人の第2集団で走る。1000m手前で集団が分かれるも前についていけずに11番手になる。その後はペースが落ちる一方で前との差が開いていく。最後の障害を越えてからラスト50mで抜かれて12着でゴール。

**男子10000mW 決勝****4位 中川岳士(M2) 43'29"57**

辻本隆文(1) 51'05"39

山岸忠相(2) 53'31"55

中川は第二集団からスタート。第一集団から落ちた選手を拾いつつ順位を上げ、いぶし銀のレースで4位フィニッシュ。

辻本は初レースということもあり、落ち着いたレース展開を見せる。中盤から後半にかけてペースを少し落とすも、うまくまとめてゴール。

山岸は中盤から順位を上げようと試みるも差し込みで思ったようにペースを上げられずそのままゴール。

**男子4×100mR 予選****2組4着 41"80****倉田(4)-藤井佳(M2)-白鳥(5)-鈴木健(3)**

1走は倉田。外側の静岡大に離されるも、順調に加速し2走にバトンパス。若干詰まる。

2走は藤井。バトンを受けたあとは、スムーズに加速し、他チームとの差を縮める。3走へのパスは詰まる。

3走は白鳥。2走からのバトンパスにロスがあったもののそれを補う好走。他チームを追い上げ4走にバトンパス。詰まる。

4走は鈴木。パス時点で外側電通大と同タイムだった。走力の差が祟り離され、静岡大、山形大、電通大に次ぐ4着でゴール。



## **男子 4×100mR 決勝**

**3着 41"23**

**倉田(4)-藤井佳(M2)-白鳥(5)-山下(M1)**

1走の倉田はスタートから加速に乗り、2レーン福島大学との差をわずかに縮める。バトンパスで少しもたつくも大きなミスなく2走の藤井へ。

2走、藤井はさすがエースと言わんばかりのバネのある走り、外側の大学にどんどん追いつき、3走の白鳥へ。

3走白鳥はまさにコーナーをえぐるような神がかったコーナリングを見せ、一気に順位を押し上げる。大混戦から上位へ順位を上げ4走の山下へ。

4走の山下は初リレーであったが、そんな感じを一切見せず、伸びのある走り、他大学から逃げ切り、3着でゴール

## **男子4×400mR 予選**

**2組3着 3'17"07**

**八巻(3)-佐藤千(1)-羽根田(4)-加地(3)**

1走は八巻。スタートから上手く加速していき、そのスピードを維持したままホームストレートへ。後半も粘りを見せ、2番手でバトンパス。

2走は佐藤千。序盤から積極的に攻めていく。200m付近で3番手に一度抜かされるものの、スパートをかけ抜き返し、その差を広げた。2番手でバトンパス。

3走は羽根田。前半から安定した走りを見せる。後半、後続にぴったりと付かれるが、ホームストレートでスパートをかけ差をつける。2番手でバトンパス。

4走は加地。バトンパスミスによりやや出遅れるものの、落ち着いて前半を刻んでいく。250m付近で3番手に付かれ、ラストの直線勝負となったが競り負け、3着。

## **男子走高跳**

**12位 渡辺智輝(4) 1m80**

練習跳躍で助走は走れていたが踏切で潰れていたのも全体的にスピードを抑える意識をしたようだ。

1m80 踏切に近い気がした。流れたが1本でクリア。

1m85 1,2本目は内傾ができていなかった

上に踏切でスピードに耐えられず失敗。3本目は曲走が少し窮屈な走りであったが、当日の中では一番良い踏切ができていた。しかし、クリアランスの入りが早く、頭をぶつけて失敗。

全体的に助走のリズムは良かったが、内傾および踏切に耐えられず高さが出ていなかった。跳躍練習不足が原因であろう。

## **女子走高跳**

**2位 中村真璃子(5) 1m65**

練習跳躍の調子を見て1m50から競技を開始した。雨予報から晴れになり調子も良さそうだった。

1m50は練習通り1回でクリア。

1m55では1回目は跳び急ぎ、ピークがズレてバーを落とした。2回目はしっかり内傾をかける意識で跳び、クリア。しかしバーは揺れていた。

1m60では浮きは十分だったがピークが奥になり、若干触れたがバーは落ちず、クリア。この時点で残り3人。

1m65は1回目、助走は良かったが踏切がハマらずクリアならず。2回目で助走、踏切が良くなり、3回目で跳べると確信。3回目で内傾、踏切ともにベストなものができ、ノータッチでクリア。シーズンベストであった。この時点で残り2人。

1m68はPBチャレンジであった。1回目、2回目は非常に惜しく、特に2回目は跳べたと思ったが、お尻がほんの少しだけ触れ、バーが落ちた。3回目は気負いすぎて、助走スピードを上げすぎ、踏切が耐えられず、落としてしまった。

試技差での2位となったが、実力がついていてのを感じられるいい大会であった。春先から目指していた速い助走からの跳躍が実現できそうである。次の個人戦でベストを更新して欲しい。

## **男子棒高跳**

**3位 藤井大輝(M1) 4m60**

例年に比べてレベルが下がり460を跳べば優勝があっただけに悔しい試合であった。人数が多く跳び始めるまでに時間が空き、動きが変わってしまったことが悔やまれる。

課題としては振り上げからの反発をもらう場面がポールに沿い切れない点であった。

### 9位 佐々木玲(2) 4m30

終始本人のイメージと跳躍動作のズレが大きく、ほとんどの跳躍がクリアしても納得できない様子であった。特に空中動作のズレが大きく、跳躍連不足が影響した。その中で何とかPBタイまで持って行けたことだけは良かった。空中動作の練習を重ね、イメージと実際の動きのズレを無くしてもらいたい。

### 13位 赤星栄治(3) 4m20

3m70から試技を始めた。安定せず3m70は3回目、3m90は1回目、4m10は3回目、4m20は2回目で成功と失敗試技が多かった。全助走を試合までにできなかつたのでしっかり練習を積んで次につなげてもらいたい。

### 男子走幅跳

### 10位 古俣諒大(3) 6m73

1本目 6m73cm

割とゆったりとした走り。最後まで減速が見られた。はさみ跳びをしようとしたが完全な失敗。いいところは1つもなさそう。

二本目 6m59cm

はさみ跳びに成功。空中動作は80点だが、最後の一步が大幅に間延び。低い跳躍となり記録は伸びなかつた。

三本目 6m40cm

助走は三本中最もスピードは出ていた。しかし、踏切板に届かず最後の一本は跳ねるように長かつたためとても低い跳躍。失敗に終わった。

### 12位 今泉裕真(M1) 6m70

1本目 6m70(+0.1)

助走の流れはスムーズであった。踏切時にブレーキがかかり、高さはあるも距離が出ない跳躍であった。

2本目 6m10(-1.6)

向かい風の影響もあり助走が届かず最後の一步で大きく間延びしてしまい、つぶれた跳躍となった。

3本目 6m47(+0.4)

カミの影響か、助走ストライドが1番短く間延びはないものの、板より手前での踏切

となった。跳躍自体は最低限まとまった跳躍という印象を受けた。

### 34位 西川亜連(1) 6m05

1本目 F

風が助走合わせの時から一変し、向かい風が強くなって来たので助走距離を30cm縮めたが、踏切板まで全く届かずファール。

2本目 5m21(+0.1)

足は合ったが、踏み切り一步前に重心を落としすぎて踏み切りで潰れて失敗跳躍。

3本目 6m05(-2.8)

助走は最後までスピードを落とさずに上手くできたが、踏切の設置時間が長かつた。また空中で身体が右に傾いてしまい右足が早く落ちて少しロスをした。

走幅跳の基本である踏切動作と空中動作が上手く出来ていない。アドバイスを参考に練習を積んでほしい。

### 男子三段跳

### 15位 大阪天心(2) 13m49

1本目 13m49(-0.3)

変な意識を持たずに臨んだ跳躍が結果的に今大会の記録となった。よい跳躍では無いがPBに迫る記録であり、体力の向上が感じられた。

2本目 13m05(+2.2)

ステップの接地の意識を変えた。本人のイメージに近い接地ではあったが、力を入れるタイミングが遅く跳躍が崩れた。

3本目 13m33(+1.7)

理想とする跳躍には一番近い形に見えた。技術を意識しすぎたようで2本目同様、動きが小さくなり記録が伴わなかつた。

強い選手に比べて動きが小さいのが明らかだ。ホップを伸ばしても耐えられる接地感覚は掴めてきた様子なので逆足も同様、身体に覚えさせる事が課題となるだろう。

### 21位 佐藤大斗(2) 13m10

1本目 13m10(0.0)

普段と比べて助走の流れはスムーズであったが、踏切1歩前で少し間延びした。ホップ、ステップと順調に跳んだもののジャンプで潰れ、着地動作を急いでしまい、もたついた跳躍であった。

## 2本目 F

1 本目の踏切前の間延びを修正しようとした結果、踏切板を大きく超えファール。修正できておらず、ステップも潰れた。

## 3本目 F

踏切前の間延びを意識しすぎた結果、2歩前で詰まり無理やり踏切ってしまいハムの筋断裂を起こした。その後空中でバランスを崩しホップの着地で足首も負傷。車椅子で運ばれた。

助走の流れや1本目の失敗跳躍の記録から、今回は調子が良かったことが伺えた。それだけに怪我で競技を終えたのは非常に残念である。これからしっかり怪我を治し、踏切や跳躍動作の改善に努めてほしい。

## 29位 大木島壮(1) 12m28

### 1本目 11m71(+1.3)

助走のスピードに耐えきれずにジャンプでブレーキがかかって空中姿勢が崩れた。

### 2本目 12m28(+2.0)

1本目を踏まえてジャンプをより前へと跳ぶ意識で跳躍したようだが、耐えきれず記録は伸びなかった。

### 3本目 11m45(+1.6)

1, 2本目と同様に全体的に小さな跳躍で、空中姿勢も崩れてしまっていた。

この大会に臨むにあたり、本人は全助走の練習があまり積めておらず、本番と同様の助走で跳躍練習をする重要性が感じられた。これからは競技場も利用して本番に近い形での跳躍練習を増やしてもらいたい。

## 男子砲丸投

### 9位 大野誠尚(2) 11m70

1投目を置きに行くつもりで投げたが、腰が引け引けファール。2投目はファールしないように気をつけつつスピードをつけて投げ11m70。この時点で9位だったので3投目は思いっきり投げたが11m前半だった。

## 男子円盤投

### 16位 大野誠尚(2) 30m19

1投目をゆっくり回り記録を残そうと思って投げた。しかし、1, 2投目はサークルのコンクリの滑りに慣れずファール。3投目は本来スピードを上げて投げたかったが

仕方なくゆっくり投げ30m前半だった。

## 22位 嘉津山拓登(3) 27m90

練習投擲からターンの形が安定せず、1投目、3投目は軸のブレた失敗投擲となった。記録の最も高かった2投目も形が安定しなかったためにリバース動作に入ることもできずPBに程遠い形となった。今シーズンは入院以降、筋力技術共に著しく低下しているため両面からの改善が必要と感じる。

## 男子ハンマー投

### 3位 宮本貴広(3) 38m80

1投目 かなりリラックスして投げた。35mを越えたので次からターンスピードを上げるようにした。

2投目 2ターン目に若干軸がぶれたがリリースははまったので伸びた。

3投目 先ほどと同様に軸はぶれたがさらに伸ばしてPBがでた。

4投目 上手くターンできリリースも押し込めた。手応えがあったが先ほどから少しだけのびてPB

5投目 1ターン目を早くしてみた。3ターン目で加速できず記録は伸びなかった。

6投目 疲れたのか分からないが力が出ずあまり飛ばなかったのでファールにした。

## 男子やり投

### 19位 大浦裕一郎(2) 44m82

1投目 練習投擲で広背筋に衝撃があり、試技では衝撃が腰の方まで下がってきってしまった。やりに力が加わってない証拠でもあった。試合という緊張と無理に腰に負担のある投げをしてきてまともに投げ練習を詰めていないこともあり、練習投擲の感覚に戻すことが出来ず惨敗だった。

2投目 1投目の感覚が残ってしまいもっと遠くへ投げようと手投げになってしまった。小さな回転半径では飛ぶはずもなく失敗。

3投目 2投目と同じく修正が出来なかった

## 25位 吉田知将(4) 41m56

1投目 線を越えファール。

2投目 助走を調整するも歩数が合わず41m。

3投目で助走を合わせるが線に意識が向いてしまい投げが崩れて39m。

第34回国公立27大学対抗陸上競技大会 上尾運動公園陸上競技場 2019

種目名	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
男子100m	米倉 祐貴(2) 10.61 静岡大学	朝日 喜紀(4) 10.61 静岡大学	佐藤 皇史郎(3) 10.64 福島大学	森山 史孝(M2) 10.66 電気通信大学	白鳥 海知(5) 10.69 東北大学	橋本 真志(3) 10.70 首都大学東京	真田 知幸(M2) 10.71 東京工業大学	軽部 恭矢(2) 10.77 山形大学
男子200m	大芝 健人(1) 21.18 東京学芸大学	白鳥 海知(5) 21.33 東北大学	真田 知幸(M2) 21.34 東京工業大学	川端 功輝(2) 21.49 静岡大学	久保 源輝(3) 21.51 横浜国立大学	前田 峻佑(4) 21.65 高崎経済大学	室岡 伸(3) 21.74 埼玉大学	佐藤 皇史郎(3) 21.83 福島大学
男子400m	池内 裕貴(2) 47.90 東京学芸大学	三澤駿之介(M1) 49.18 信州大学	遠藤 幹康(2) 49.21 東京学芸大学	福田 大希(3) 49.41 高崎経済大学	日尾 悠人(1) 49.48 首都大学東京	安達耀一郎(M2) 49.63 首都大学東京	村上 陽哉(3) 50.40 東京工業大学	水元 大雅(3) 52.02 埼玉大学
男子800m	石川 昌樹(1) 1'53"02 横浜国立大学	樗澤 克海(4) 1'53"35 福島大学	清崎 佑(2) 1'53"66 一橋大学	大原 未楠(2) 1'53"85 横浜国立大学	青柳良英(M2) 1'53"91 横浜国立大学	石渡 謙(3) 1'54"67 横浜市立大学	土田 周治(4) 1'55"34 東京工業大学	渡邊 宏太(4) 1'55"37 山梨大学
男子1500m	石川 昌樹(1) 3'58"22 横浜国立大学	青柳 良英(M2) 3'58"54 横浜国立大学	加太 宏明(D1) 4'02"54 横浜国立大学	小島 輝竜(1) 4'04"10 首都大学東京	大倉 和樹(4) 4'05"50 一橋大学	野崎 元基(3) 4'05"50 新潟大学	小川 真誉(3) 4'05"60 静岡大学	樗澤 克海(4) 4'05"81 福島大学
男子5000m	今江 勇人(4) 14'53"97 千葉大学	柿沼 祐亮(2) 15'10"37 宇都宮大学	小野 隼太(M2) 15'11"22 茨城大学	塩田 匠(M1) 15'13"22 東京工業大学	井上 暁人(M1) 15'13"69 東京工業大学	柳川健太郎(M2) 15'13"83 横浜国立大学	辻川 侑馬(2) 15'15"44 静岡大学	山口 雄大(4) 15'17"15 一橋大学
男子10000m	塩田 匠(M1) 31'48"48 東京工業大学	小野 隼太(M2) 31'49"51 茨城大学	鈴木 駿太郎(2) 31'52"96 新潟大学	石澤 由祐(3) 32'05"91 高崎経済大学	丸山 達広(4) 32'10"08 高崎経済大学	岡部 純(3) 32'11"91 首都大学東京	入野 翔太(4) 32'11"91 東京学芸大学	佐々木 海(3) 32'15"31 一橋大学
男子110mH	原 駿介(1) 14.34 新潟大学	永島 唯哉(M2) 14.43 東京工業大学	前三盛 喬貴(4) 14.50 東京学芸大学	佐々木 嵩(3) 14.67 東京学芸大学	中西 潤(3) 14.72 金沢大学	佐藤 勇介(3) 14.77 一橋大学	渡邊 薫(2) 14.88 横浜国立大学	伊藤 隆志(2) 15.04 金沢大学
男子400mH	吉田 京平(4) 50.86 東京学芸大学	遠藤 幹康(2) 51.90 東京学芸大学	田邊 ジョー(2) 52.13 東京学芸大学	尾崎 康太(M1) 53.65 千葉大学	川又 彰人(2) 54.23 福島大学	橋爪 孔明(M2) 54.62 山梨大学	小橋 圭太(2) 55.39 福島大学	花輪 駿也(3) 55.43 静岡大学
男子3000mSC	今江 勇人(4) 9'17"76 千葉大学	柿沼 祐亮(2) 9'21"18 宇都宮大学	小野 隼太(M2) 9'23"60 茨城大学	森 基哉(2) 9'24"56 東京工業大学	入野 翔太(4) 9'24"71 東京学芸大学	増田 慶太郎(3) 9'27"64 首都大学東京	上田 誠人(4) 9'27"90 山梨大学	久慈 清太郎(M) 9'35"16 群馬大学
男子10000mW	河野 樹(4) 41'38"19 一橋大学	福井 隆真(2) 41'41"14 一橋大学	村手 光樹(1) 43'57"89 東京学芸大学	中川 岳士(M2) 44'32"78 東北大学	寺田 倅太郎(2) 46'29"76 一橋大学	久保田 哲矢(2) 46'36"34 東京工業大学	菅原 恒平(2) 47'02"61 新潟大学	恩田 拓実(4) 47'21"34 千葉大学
男子4×100mR	静岡大学 40.60 桜木 隆伍(4) 朝日 喜紀(4) 米倉 祐貴(2) 菊池 昌太郎(3) NGR	東京学芸大学 40.90 豊嶋 琉久(1) 筑田 涼介(1) 大芝 健人(1) 大原 健太郎(2)	山形大学 41.23 伊藤 和弘(1) 軽部 恭矢(2) 工藤 雄斗(2) 瀬田 博貴(5) 同着3位	東北大学 41.23 倉田 真樹(4) 藤井 佳祐(M2) 白鳥 海知(5) 山下 一也(M1) 同着3位	東京工業大学 41.38 尾川 拓巳(4) 真田 知幸(M2) 永島 唯哉(M2) 高橋 知也(M1)	首都大学東京 41.57 外池 康裕(M2) 橋本 真志(3) 永島 唯哉(3) 見留 拓樹(3)	電気通信大学 41.59 森山 史孝(M2) 田中 宏樹(M2) 石村 建人(3) 高島 良純(4)	福島大学 41.87 福本 健斗(2) 佐藤 皇史郎(3) 鳥倉 直広(2) 浦 和也(3)
男子4×400mR	東京学芸大学 3'12"82 遠藤 幹康(2) 濱道 健(2) 狩野 遼太郎(3) 池内 裕貴(2)	横浜国立大学 3'14"10 大原 未楠(2) 久保 源輝(3) 鳥津 勲作(3) 石川 昌樹(1)	首都大学東京 3'16"10 安達 耀一郎(M2) 外池 康裕(M2) 見留 拓樹(3) 橋本 真志(3)	東京工業大学 3'16"11 高橋 知也(M1) 村上 陽哉(3) 真田 知幸(M2) 大塚 雄介(M2)	山形大学 3'16"21 西山 隼平(2) 三宅 大誠(3) 寒河江 碧(2) 奥村 翔(2)	福島大学 3'16"24 福本 健斗(2) 佐藤 皇史郎(3) 浦 和也(3) 鳥倉 直広(2)	静岡大学 3'16"50 沢山 匠(2) 長瀬 博哉(2) 鈴木 拓郎(4) 安達 太陽(2)	高崎経済大学 3'20"58 生方 利樹(2) 石井 浩哉(4) 及川 大樹(4) 福田 大希(3)
トラック対抗得点	東京学芸大学 81点	横浜国立大学 54点	東京工業大学 53点	一橋大学 34点	静岡大学 28点	首都大学東京 26点	福島大学 25点	千葉大学 22点
男子走高跳	土井 颯馬(1) 2m14 東京学芸大学 NGR	久保木 春佑(2) 1m95 東京学芸大学	岩本 峻(2) 1m95 東京学芸大学	榎永 理気(4) 1m95 東京農工大学	香山 優太(3) 1m95 横浜国立大学	矢作 大輔(1) 1m95 山形大学	恩地 隆平(3) 1m90 東京外国語大学	鈴木 圭介(4) 1m85 山形大学
男子棒高跳	高須 莉喜(M1) 4m60 横浜国立大学	木内 智也(M1) 4m60 茨城大学	小野内 陽平(4) 4m50 茨城大学	藤井 大輝(M1) 4m50 東北大学	福田 哲史(1) 4m50 福島大学	中村 拓真(3) 4m40 横浜国立大学	海老田そら(2) 4m40 千葉大学	品田 大樹(3) 4m40 福島大学
男子走幅跳	清水 航己(4) 7m21 福島大学 風-0.6	久保 源輝(3) 7m20 横浜国立大学 風+0.1	横森 友朗(3) 7m08 山梨大学 風-0.8	本間 大輝(1) 7m01 新潟大学 風-1.3	高橋 雄哉(4) 6m95 東京学芸大学 風-1.8	浅利 拓(M2) 6m91 千葉大学 風-1.9	内田 将大(3) 6m83 東京学芸大学 風-0.3	外池 康裕(M2) 6m74 首都大学東京 風+1.0
男子三段跳	横森 友朗(3) 15m72 山梨大学 風+1.5タイ	三宅 大誠(3) 15m27 山梨大学 風+1.8	鳥津 勲作(3) 15m03 横浜国立大学 風+1.7	窪田 章吾(M1) 14m86 横浜国立大学 風+1.7	小柳津 瑛斗(2) 14m67 横浜国立大学 風+1.4	前田 優太郎(3) 14m50 首都大学東京 風+1.4	外池 康裕(M2) 14m39 東京工業大学 風+0.7	広瀬 雄也(3) 14m30 東京工業大学 風+2.4公認記録なし
男子砲丸投	星 優介(4) 15m57 山形大学 NGR	栗本 恭宏(4) 14m48 東京学芸大学	樗澤 祐聖(M2) 13m25 横浜国立大学	下山 翔平(1) 13m17 横浜国立大学	矢口 幸平(M2) 12m96 埼玉大学	萩原 怜(M1) 12m83 山梨大学	松本 亮大(3) 12m40 山梨大学	光吉 堯(4) 12m00 山梨大学
男子円盤投	矢口 幸平(M2) 41m08 埼玉大学	星 優介(4) 40m94 山形大学	澤村 健斗(3) 40m54 三重大学	渡邊 直希(4) 39m86 静岡大学	木下 涼雅(2) 38m53 静岡大学	梅津 裕義(3) 37m37 福島大学	岡村也寸志(M2) 37m18 電気通信大学	北脇 恭介(4) 35m42 東京学芸大学
男子ハンマー投	星 優介(4) 44m40 山形大学	光吉 堯(4) 42m83 山梨大学	宮本 貴広(3) 38m80 東北大学	桶川 雅毅(4) 38m30 東京学芸大学	矢口 幸平(M2) 37m45 埼玉大学	萩原 怜(M1) 36m68 山梨大学	落合 健太(4) 35m19 群馬大学	鈴木 理太(2) 33m98 宇都宮大学
男子やり投	中島 直哉(4) 60m29 宇都宮大学	鈴木 理太(2) 60m28 宇都宮大学	増田 裕太(2) 59m11 静岡大学	桶川 雅毅(4) 58m97 東京学芸大学	中野 龍星(1) 57m92 東京学芸大学	小林 昇市(3) 57m07 金沢大学	山田 藍樹(1) 56m78 千葉大学	前川 祐佑(4) 55m91 東京学芸大学
男子十種競技	本橋 輝久(4) 7084点 東京学芸大学 NGR	高根 一輝(2) 6534点 新潟大学	古谷 勇人(3) 6077点 千葉大学	荻野 隼(4) 5937点 電気通信大学	長谷川 迅平(1) 5816点 千葉大学	千葉 達也(4) 5816点 金沢大学	塚田 龍太郎(2) 5802点 千葉大学	森 遼河(M1) 5531点 信州大学
フィールド対抗得点	東京学芸大学 54.5点	横浜国立大学 46点	山形大学 46点	山梨大学 30点	福島大学 16.5点	宇都宮大学 16点	埼玉大学 16点	静岡大学 15点
対抗総合得点	東京学芸大学 143.5点	横浜国立大学 101点	東京工業大学 54点	山形大学 44.5点	静岡大学 43点	福島大学 41.5点	千葉大学 38.5点	山梨大学 36点

中村 拓己(1) 1m85  
一橋大学

第34回国公立27大学対抗陸上競技大会 上尾運動公園陸上競技場 2019

種目名	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
女子100m 風-0.1	茨木 凜(1) 12.12 福島大学	杉山 董(4) 12.16 横浜国立大学	豊田 麗(4) 12.17 横浜国立大学	小杉 恵理(3) 12.20 福島大学	菅井 沙桜里(1) 12.42 千葉大学	榊田 結夢(3) 12.50 千葉大学	山口 華枝(1) 12.63 東京学芸大学	菊地 葵(3) 12.67 山形大学
女子200m 風+0.9	杉山 董(4) 24.29 横浜国立大学	金井 菜奈(3) 24.97 福島大学	新田 彩(4) 25.11 福島大学	豊田 麗(4) 25.22 横浜国立大学	池山 知佳(4) 26.33 都留文科大学	榊田 結夢(3) 26.35 千葉大学	田代 千絵(1) 26.36 東京学芸大学	古屋 鈴子(1) 26.42 都留文科大学
女子400m	中村 美宇(2) 55.60 福島大学	金井 菜奈(3) 56.59 福島大学	内山 成実(M2) 57.10 東京学芸大学	高尾 夏鈴(1) 59.84 都留文科大学	小川 紗瑛(2) 60.22 東京学芸大学	川島 都妃(2) 60.71 千葉大学	合田 陽菜(1) 61.13 横浜国立大学	加藤 史奈(2) 61.67 横浜国立大学
女子800m	菅野 杏奈(4) 2'09"12 福島大学 NGR	中村 美宇(2) 2'09"34 福島大学 NGR	碓井 茉依(3) 2'14"94 千葉大学	井上 玲奈(2) 2'19"13 横浜市立大学	小川 明音(2) 2'20"51 東北大学	小川 紗瑛(2) 2'20"82 東京学芸大学	高尾 夏鈴(1) 2'22"55 都留文科大学	木村 玲奈(1) 2'23"11 東京学芸大学
女子1500m	菅野 杏奈(4) 4'42"22 福島大学	原 舞奈(2) 4'45"79 東京学芸大学	早笋 彩乃(4) 4'46"45 千葉大学	井上 玲奈(2) 4'50"27 横浜市立大学	太田 成美(1) 4'50"59 名古屋学芸大学	石川 優鈴(4) 4'54"18 茨城大学	大塚 千穂(4) 4'59"74 茨城大学	竹内 夕佳(4) 5'01"48 新潟大学
女子5000m	原 舞奈(2) 17'48"08 東京学芸大学	鈴木 優花(3) 17'49"25 群馬大学	太田 成美(1) 18'02"14 名古屋学芸大学	石川 優鈴(4) 18'20"83 首都大学東京	長谷川 桜花(1) 18'24"12 宇都宮大学	小林 亜由佳(1) 18'29"74 茨城大学	稲岡 菜月(2) 18'56"14 静岡県立大学	馬込 千帆(M1) 18'59"30 静岡県立大学
女子100mH 風+2.0	鴨林 楓奈(3) 13.71 横浜国立大学	茨木 凜(1) 13.82 福島大学	川勝 稀月(2) 14.12 東京学芸大学	千葉 桃香(3) 14.27 福島大学	眞田 桃子(2) 14.82 東京学芸大学	前山 智世(2) 14.85 金沢大学	藤澤 真由(2) 15.21 茨城大学	泉原 咲月(3) 15.40 東北大学
女子400mH	小林 茜(3) 62.03 福島大学	坂本 るみ(2) 62.75 福島大学	田代 千絵(1) 63.03 東京学芸大学	川勝 稀月(2) 63.64 東京学芸大学	川島 都妃(2) 65.78 千葉大学	弘田 来実(4) 66.39 横浜国立大学	前山 智世(2) 66.76 金沢大学	茂木万理奈(M2) 67.18 宇都宮大学
女子10000mW	玉利 朱音(2) 53'27"67 東京学芸大学	山口 千尋(2) 53'43"09 東京学芸大学						
女子4×100mR	福島大学 46.60 茨木 凜(1) 新田 彩(4) 小林 茜(3) 小杉 恵理(3)	横浜国立大学 46.64 東 直美(3) 杉山 董(4) 鴨林 楓奈(3) 豊田 麗(4)	東京学芸大学 48.26 小山田 環(1) 山口 華枝(1) 眞田 桃子(2) 磯部 未侖(2)	千葉大学 48.80 榊田 結夢(3) 菅井 沙桜里(1) 坂田 綾香(2) 川島 都妃(2)	首都大学東京 49.49 鈴木 菜生子(4) 西川 眞生(3) 山本 真祐子(1) 三田 優子(3)	都留文科大学 49.76 鈴木 悠香(3) 池山 知佳(4) 鈴木 楓帆(1) 古屋 鈴子(1)	静岡大学 50.78 佐野 紗智子(2) 有ヶ谷 真由(2) 坂本 唯(3) 天羽 桜子(3)	宇都宮大学 DNS
女子4×400mR	福島大学 3'44"51 中村 美宇(2) 小林 茜(3) 金井 菜奈(3) 菅野 杏奈(4)	東京学芸大学 3'50"84 松島 亜実(1) 川勝 稀月(2) 平原 杏華(3) 内山 成実(M2)	横浜国立大学 3'51"40 杉山 董(4) 豊田 麗(4) 弘田 来実(4) 鴨林 楓奈(3)	千葉大学 3'55"04 菅井 沙桜里(1) 川島 都妃(2) 坂田 綾香(2) 碓井 茉依(3)	都留文科大学 4'00"50 古屋 鈴子(1) 高尾 夏鈴(1) 鈴木 楓帆(1) 池山 知佳(4)	首都大学東京 4'18"03 宮坂 奈緒(3) 西川 眞生(3) 三田 優子(3) 鈴木 菜生子(4)	新潟大学 4'22"02 早坂 葵(2) 吾妻 佳奈(4) 斎藤 叶夢(1) 竹内 夕佳(4)	群馬大学 DNS
トラック対抗得	福島大学 105点	東京学芸大学 70点	横浜国立大学 51点	千葉大学 37点	都留文科大学 17点	首都大学東京 13点	名古屋学芸大学 10点	横浜市立大学 10点
女子走高跳	芝崎 祐美(4) 1m65 茨城大学	中村 真璃子(5) 1m65 東北大学	高橋 このか(4) 1m60 東京学芸大学	馬杉 芽依(1) 1m50 千葉大学	手塚 菜奈(1) 1m50 宇都宮大学	眞田 桃子(2) 1m50 東京学芸大学	長根 史依(3) 1m45 横浜国立大学	吉村 彩加(4) 1m45 千葉大学
女子棒高跳	池田 風香(3) 3m40 茨城大学	池田 英理子(2) 3m30 東京学芸大学	川澄 優衣(1) 3m20 福島大学	富沢 恭子(2) 3m10 東京学芸大学				
女子走幅跳	高橋 瑞希(2) 6m19 福島大学	古谷 夢華(3) 6m03 横浜国立大学	西村 千明(4) 5m96 東京学芸大学	森本 知隼(2) 5m86 横浜国立大学	山口 華枝(1) 5m84 東京学芸大学	坂田 綾香(2) 5m76 千葉大学	関根 聖良(1) 5m68 宇都宮大学	高橋 桃華(3) 5m65 福島大学
女子三段跳	高橋 桃華(3) 11m97 福島大学	古谷 夢華(3) 11m92 横浜国立大学	芦田 陽菜(1) 11m78 横浜国立大学	星野 杏佳(2) 11m70 高崎経済大学	室谷 優里奈(4) 11m61 福島大学	西内 美香子(4) 11m60 都留文科大学	坂田 綾香(2) 11m51 千葉大学	清野 涼々花(2) 11m36 東京学芸大学
女子砲丸投	大野 史佳(1) 14m22 埼玉大学	佐久間 史穂(2) 10m13 宇都宮大学	山形 菜々子(3) 9m86 茨城大学	高橋 奈津子(4) 9m58 福島大学	仁井田 侑子(4) 9m56 福島大学	高橋 幸子(3) 8m50 都留文科大学	小山田 環(1) 8m31 東京学芸大学	奥瀬 由南(2) 7m17 山形大学
女子円盤投	山形 菜々子(3) 39m19 茨城大学	大野 史佳(1) 36m67 埼玉大学	菅野 由真(2) 34m81 福島大学	平賀 美波(4) 33m94 都留文科大学	六井 ゆり(1) 31m32 福島大学	井川 遥菜(3) 28m66 新潟大学	仁井田 侑子(4) 28m40 福島大学	奥瀬 由南(2) 23m22 山形大学
女子ハンマー投	亀澤 亜衣(1) 45m62 金沢大学	仁井田 侑子(4) 42m36 福島大学	大和 史織(4) 35m86 群馬大学	大野 史佳(1) 34m92 埼玉大学	井川 遥菜(3) 33m08 信州大学	菅野 由真(2) 32m15 福島大学	野本 菜奈(1) 24m56 茨城大学	奥瀬 由南(2) 23m51 山形大学
女子やり投	高橋 奈津子(4) 48m31 福島大学	望月 如葉(2) 47m37 東京学芸大学	島田 夏純(4) 45m74 茨城大学	星 佳奈(1) 43m93 福島大学	鈴木 万裕(1) 41m12 茨城大学	萩原 那緒(3) 38m61 静岡大学	佐久間 史穂(2) 37m14 宇都宮大学	梶 蒼衣(1) 36m88 三重大学
女子七種競技	高橋 このか(4) 5104点 東京学芸大学 NGR	磯部 未侖(2) 4354点 東京学芸大学	千葉 桃香(3) 4259点 福島大学	茂田井 みさと(2) 4232点 福島大学	辻井 菜希(3) 4014点 金沢大学	宮坂 奈緒(3) 3669点 首都大学東京	有ヶ谷 真由(2) 3638点 静岡大学	神原 彩花(2) 3515点 茨城大学
フィールド対抗	福島大学 64点	茨城大学 39点	東京学芸大学 35点	横浜国立大学 27点	埼玉大学 20点	宇都宮大学 15点	千葉大学 11点	都留文科大学 11点
対抗総合得点	福島大学 180点	東京学芸大学 120点	横浜国立大学 78点	千葉大学 48点	茨城大学 47点	都留文科大学 28点	宇都宮大学 20点	埼玉大学 20点

2019年9月25日

東北大学学友会陸上競技部三秀会の皆様

三秀会主務 久野 瑞希

### 2019年度 秋保マラソンのご案内

拝啓

朝夕はしだいに涼しさを感じるころとなりましたが、皆様にはお健やかに過ごしのことと存じます。また、日頃より三秀会ならびに東北大学学友会陸上競技部の運営にご協力くださいまして誠にありがとうございます。

さて、今年度も秋保マラソンを下記の日程で開催いたします。お忙しいとは存じますが、皆様方多数のご参加をお待ちしております。

敬具

記

日時：11月9日（土） 9:00 受付開始  
10:45 開会式  
11:00 マラソンスタート  
13:00 昼食  
14:00 表彰式

場所：仙台市太白区秋保地区周辺

コース：4km, 9km, 18km

参加費：3000円

申込締切：2019年10月18日（金）

申込方法：お名前、ご連絡先、参加コース、送迎バスの利用の有無をご記載の上、三秀会主務の久野まで連絡をください。送迎バスに関してですが、行きは8時に東北大学川内キャンパステニスコート前駐車場出発、帰りは15時30分ごろにホテルニュー水戸屋様出発を予定しております。送迎バスの運賃は片道400円ほどです。

申込先：東北大学学友会陸上競技部 三秀会主務  
久野 瑞希  
E-mail mzk0327kn@gmail.com

以上

2019年9月17日

三秀会会員 各位

三秀会会長 稲見 文雄

東北大学学友会陸上競技部祝勝会のご案内

拝啓

残暑の候、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は三秀会の活動にご協力いただきまして誠に有り難うございます。

さて、8月3日、4日に博多の森陸上競技場で開催された七大戦におきまして、女子チームが三連覇を達成しました。この現役部員の活躍を祝し、七大戦女子三連覇の祝勝会を下記の日程で開催します。本会では、今後の全国大会における現役部員の活躍も同時にお祝いしたいと思います。

皆様、是非お誘い合わせの上、奮ってご参加ください。

敬具

記

日時：2019年11月9日（土） 18：00～20：00

場所：東北大学片平北門会館（旧北門食堂）1F 「さくらキッチン」

会費：H10年以前卒業OB・OG 7000円※

H11年以降卒業OB・OG 5000円

※ 会費の一部を女子部員の参加費補助に充てたいと考えております。  
ご了承のほど宜しくお願い致します。

申し込み先：陸上競技部監督 吉田宛

E-mail：masato@riec.tohoku.ac.jp

携帯電話：090-2027-7681

申込期日：2019年11月1日（金）



### ◎自己ベスト更新者(8/5~9/29)

- 男子 100m
  - 菅野 耀広(2) 4'09"08 (27 大戦)
  - 秋山 航(1) 11"16(+0.6) (27 大戦)
  - 金田 大輝(2) 4'15"28 (27 大戦)
  - 鈴木 健大(3) 11"20(+1.5)  
(栃木陸協記録会)
  - 男子 5000m
    - 片桐 大智(2) 11"22(+1.2) (27 大戦)
    - 松浦 崇之(4) 14'27"04 (日本インカレ)
    - 山田 将斗(4) 11"36(+0.3)  
(仙台大競技会)
    - 臼井 駿斗(3) 16'03"54 (27 大戦)
    - 伊藤 祐希(1) 16'19"75 (27 大戦)
    - 若林 郁生(4) 16'58"12 (仙台大競技会)
- 男子 200m
  - 白鳥 海知(5) 21"22(+1.8) (27 大戦)
  - 男子走幅跳
    - 鈴木 碩通(2) 5m76(-0.7) (27 大戦)
  - 藤井佳祐(M2) 21"77(+1.4) (27 大戦)
  - 男子棒高跳
    - 佐々木 玲(2) 4m30 (仙台大競技会)
- 男子 400m
  - 白鳥 海知(5) 48"67 (仙台大競技会)
  - 男子走高跳
    - 山下一也(M1) 2m13 (仙台大競技会)
  - 羽根田佑真(4) 50"34 (27 大戦)
  - 男子やり投 800g
    - 片桐 大智(2) 50"90 (仙台大競技会)
    - 大浦裕一郎(2) 45m27 (仙台大競技会)
- 女子 100mH
  - 男子ハンマー投げ
    - 宮本 貴広(3) 38m80 (27 大戦)
  - 泉屋 咲月(3) 15"40(+2.0) (27 大戦)
- 女子 400mH
  - 柄澤菜々美(3) 1'11"78 (27 大戦)
- 男子 1500m

### ◎今後の予定

- 10月19日 OB・OG 戦 …評定河原グラウンド
- 10月27日 第37回全日本大学女子駅伝対校選手権大会 …仙台
- 11月3日 第51回全日本大学駅伝対校選手権大会 …熱田～伊勢
- 11月9日 秋保マラソン …仙台秋保温泉 ホテルニュー水戸屋(仙台市)
- 11月9日 東北大学学友会陸上競技部祝賀会  
…東北大学片平北門会館 1F「さくらキッチン」
- 12月1日 三秀総会…新宿

### ◎編集後記

PB や部記録の更新、日本インカレの標準突破が相次ぎ、勢いそのままトラックシーズンの最終盤へと向かっていきます。

OB・OGの皆様、引き続きたくさんのご声援をよろしく申し上げます。

文責 副務 牧野 雅紘

東北大学陸上競技部三秀会

〒980-0815 仙台市青葉区花壇2-1

東北大学評定河原グラウンド内

hukumu\_tohoku\_ob2sin@yahoo.co.jp